



未来日記

NO.2

●30回生事務局●
嘉穂郡桂川町土師376-3
リースキンサトー内
TEL 0948-65-3939
FAX 0948-65-2641
編集 広報部会

21世紀に響く、出会いと感動

「同窓会の意義」

実行委員長 佐藤 弘明

皆様には、昨年行われました第91回同窓会、並びに今年の1月に行いました同期会、さらには、毎月行われております実行委員会と各委員会に時間を作ってご参加いただき誠にありがとうございます。さて、いよいよ3月となり、それぞれに計画実行段階へと移りだす時期になりました。ここに至るまで、多くの方から励ましやアドバイスを頂きました。得に、同級生からの意見がなにより、力強く、有難いものだなあと思っております。

その中によく出るのが、「同窓会の意義」、「なんで私たちが全体の同窓会のお世話や沢山のお金まで出してせないかんと？」という意見です。実は私も同感の意見を以前から持っていました。本来同窓会は参加したい人が登録して、集まっただけの予算で、完全自主財源、自主運営が当たり前だと思っています。おそらく多くの人がそう思っていると思います。昨年、同窓会当番を引き受けるときに数名ではありますが、無駄を省き、やる意義を明確にしていこうと申し合せをしています。昨年行いました同窓会アンケート調査も、その一つです。時代にあった同窓会を目指し、変革していこうと取り組んでおります。「同窓会の意義」も答えはそれぞれにあっていいと思います。とにかく、1年間という短い時間に23年間の同期生の熱い思いをいっしょに注ぎ込むことによって、答えは出ると確信しています。厳しいご意見でも前向きなご意見でも構いません。そのご意見が新しい同窓会を創ります。多くのご意見を待っております。時間が許せば委員会に来て、いっしょに議論できれば幸いです。最後になりましたが、私個人の「同窓会の後にある「感動」や「友情」さらには、よりどころが見つかることだ

意義」は、1年間一生懸命やり遂げた終わってから始まる、人生の心の
と思います。

